



“激論” Hydrus® 緑内障マイクロステント

Hydrus® 緑内障マイクロステントの国内導入から約2年の期間が経過し、実臨床における短期成績や使用経験が蓄積されつつある。今あらためて、MIGS 治療の中で Hydrus® 緑内障マイクロステントをどのように位置づけるべきか、どのような患者に最適な治療選択となり得るのか、さらに医療経済的観点を含めてその価値を再考する時期に来ているのではないだろうか。本セミナーでは、4名の演者が短期臨床評価、患者選定、MIGS 選定基準、医療経済など異なる視点からショートプレゼンテーションを行う。そしてQ&Aセッションでは、エビデンスのみならず実臨床での経験や課題も交えながら、Hydrus® 緑内障マイクロステントの適正使用と将来展望について討論を行う。参加者の皆様とともに、Hydrus® 緑内障マイクロステントがもたらす新たな治療選択肢の可能性を率直に議論する場としたい。



座長
谷戸 正樹 先生
島根大学



座長
本庄 恵 先生
東京大学



演者
杉原 一暢 先生
島根大学



演者
庄司 拓平 先生
小江戸眼科内科
白内障・緑内障・糖尿病クリニック



演者
上野 盛夫 先生
京都府立医科大学



演者
石田 恭子 先生
東邦大学医療センター大橋病院